

(令和5年10月)

種類	市況の概要
(青果部の動向) 青果全般	<p>10月の総入荷量は、夏季の高温や少雨の影響から、夏秋産地で切上がりが早まり、後続となる秋冬産地で生育が遅れたことにより産地リレーが途切れ、前年同月比で9%下回った。総取扱金額は、多くの品目において不安定な入荷や品薄感が強まったため、10%上回った。今後は、入荷は徐々に回復傾向となるものの、前年に比べると高値で推移することが予想される。</p> <p>11月は、野菜では、聖護院だいこんや大かぶ、海老いも等の入荷が増える。果実では、みかん類は早生種が出始め、りんご類はサン富士が主力となり、柿類は富有柿やアンポ柿の入荷が増える。</p>
野菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は20%上回った。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は20%上回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は20%上回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は36%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で5%上回ったが、単価は需要が高かったため11%上回った。</p>
果実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は25%上回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため18%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は28%上回った。</p> <p>柿類の入荷量は前年同月比で26%下回り、単価は26%上回った。</p> <p>ぶどう類の入荷量はシャインマスカットの入荷増により前年同月比で17%上回ったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため14%上回った。</p>

	メロン類の入荷量は好天で生育が進んだため前年同月比で40%上回ったが、単価は3%上回った。
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん	北海道を中心に石川、岩手、青森、千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は15%上回った。
西洋にんじん	北海道を中心に中国、長野、京都からも入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は37%上回った。
【葉菜類】	
はくさい	長野を中心に茨城、滋賀、鹿児島、北海道などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%下回り、単価は23%上回った。
キャベツ	群馬、長野を中心に茨城、滋賀、愛知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は49%上回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城、和歌山、京都、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は6%上回った。
レタス	長野を中心に兵庫、茨城、山梨、徳島などからも入荷した。入荷量は主産地である長野産の切上がりが早まったため前年同月比で17%下回ったが、単価は前年同月並みであった。
【果菜類】	
きゅうり	滋賀、佐賀、福岡、宮崎、北海道などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は不安定な入荷の影響により引合いが強まったため18%上回った。
なす	高知、京都を中心に岡山、香川、徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は9%上回った。

	とまと	岐阜、熊本、北海道、福岡、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で27%下回り、単価は54%上回った。
	ピーマン	大分、茨城、高知、宮崎、兵庫などから入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は45%上回った。
【土物類】		
	ばれいしょ (メーカイン含む)	北海道を中心に滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は15%上回った。
	たまねぎ	北海道を中心に兵庫、中国、京都からも入荷した。入荷量は産地からの出荷が進んだため前年同月比で11%上回ったが、単価は下旬に需要が高かったため17%上回った。
【その他野菜】		
	松茸	中国、アメリカ、岩手、カナダ、韓国などから入荷した。入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は21%上回った。
	栗	愛媛を中心に京都、熊本、山口、奈良などからも入荷した。入荷量は前年同月比で56%上回り、単価は4%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
極早生みかん	和歌山を中心に熊本、福岡、宮崎、佐賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で3%上回ったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため20%上回った。
富士	青森を中心に岩手、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は15%上回った。
刀根柿・平核無柿	和歌山を中心に福井、奈良、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は29%上回った。
シャインマスカット	長野、山梨を中心に岡山、鳥取、青森からも入荷した。入荷量は生産量の拡大及び大房傾向により前年同月比で19%上回ったが、単価は競合品目が品薄で引合いが強まったため11%上回った。
アールスメロン	静岡、茨城、鳥取、福井、高知などから入荷した。入荷量は好天に恵まれ生育が進んだため前年同月比で46%上回ったが、単価は9%上回った。